



“泣く子も黙る？”～見えたのは～

■ 4月は、毎日必ず、泣き声が聞こえてきます。



・・・?? どうした どうした？

“泣く子は 育つ” とも言いますから、大丈夫です。大丈夫ですけど・・・

➤ 自分の気持ちをわかってほしい！”

言葉で伝えられないから、泣くしかない！ 私を見て(気にして)・・・

その子なりの事情があるからこそその表現です。泣き続ける子もいます。

「わかった、わかった・・・。大丈夫だよ。」

そばについでいる先生が、受け止めています。私(園長)には、アイコンタクトです。時には、少し離れて、「自分で考え(立ち直り)なさい」と少し厳しく見守っている先生もいます。

成長過程で、必要なことだと思います。～だいじょうぶ～

叱られ慣れていない(経験がない)という現状も感じます。ダメなことは、「だめです。(こうしてほしい)〇〇します。」と優しく伝えます。…やっぱり 気持ちの整理がつかないようです。

【泣く子も黙る ～～】

- ・絶対的な強さをもつ存在
- ・ひどく恐ろしい存在

泣いている子の横に行って、私も“泣く(真似)”のです。

「痛いよ～・・・」って。

す・る・と…泣き止むのです。

➤泣いている私の 黒くなった爪に気づいた園児は、・・・“これは、大変！？”

泣き止むどころか・・・! な・ん・と! 『よし よし』してくれるのです!

自分が泣いていたことを忘れて、爪をさすって“心配”してくれるのです。

・・・なんて、優しいのでしょうか・・・(一人だけではないのです)

◎ 元来、人って“優しい”のでしょうかね。生まれた時から…。

<泣く子も黙る“内出血 爪”の私> の幼稚園での一幕。

*とんだ 副産物に感動しています。～子供って、素敵です～

帰りたいよ～ で・き・な・い～
まだ、遊んでいたいのに…
「それは、だめ」って言われた
お友達が、勝手に入ってきた
などなど



➤本来は、左のような意味をもって使われます。

・・・しかし、右上の写真をご覧ください。

◆私(園長)の 右手人差し指の爪です。

入園式準備の際、折りたたみ机で“むぎゅ～”とはさんでしまったのです。痛っ～～!

骨には異状なく、内出血。(青たん 黒ぢ 黒にえ 等)

